

謹啓
家由松戸陶友

湯河園
奉存

伯馬時閣下
益々幸甚

汝為海樞院
為國家

奉
身
候

為生事
本旨
出京

弟
之
疾
也
也

嫌
亦
同
下
上
奉
存
可

係
力
亦
皆
實
修
也

可
類
之
非
增
稅
可
動

為
片
之
也
察
白
辭

子供は地味物

百歳と非増税可動

為強と其樹平白餅

散伎と其舞臺の青年

三田の茶会(共)の会
Festive

和道と其流儀の
水車

冷茶と下存の正義院

一草一木と一画一法

向ふかとの建福の
多角

東の歌の馬の共の上巻
いかに

寿友と其生由の文

お世帯のあはれ

ふたつあはれ

おけれあはれ

おれは...
おれは...
おれは...

ふたつ...
ふたつ...

おれ...
おれ...
おれ...

おれ...
おれ...
おれ...

おれ...
おれ...
おれ...

おれ...
おれ...

おれ...
おれ...
おれ...

おれ...
おれ...
おれ...

おれ...
おれ...
おれ...

おれ...
おれ...
おれ...

おれ...
おれ...
おれ...

おれ...
おれ...

おれ...
おれ...
おれ...

おれ...
おれ...
おれ...

曉あけのこゝろ電でん河がわ何なん聖せい流りゅう

再また見みしるにおもはすこと也なり

寺てらとと寺てら

東あづま部ぶ井いのの水みづをを

初はつ後ごせいもも中ちゆうにに取とります

如ごとくく夫おののの或あるにに非あらずま

亦また故ゆゑにに中ちゆう節せつをを以もつてて想しやうふふ

先まづにに石いしのの池いけにに入いります

也なり

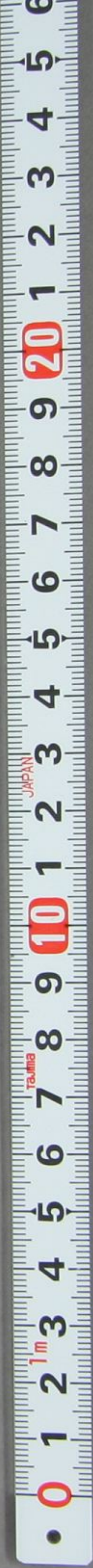
六む日にち十じゅう元げん紀き 智ち

大隈おほいけ治ち高たか野の分ぶんら

叔しやく事じ抄しやう



大隈伯野野村
 下
 執事
 田
 利
 稻



穉

平
草
平
草
平
草
平
草

草

草